

# 【アーカイブ配信】2024年2月27日に開催したセミナー動画です

## 最新の冷媒問題への対応と展望 2023

CPDポイント 6

主催：(公社)日本冷凍空調学会 関東地区事業推進委員会

配信期間：2024年7月1日(月)～8月31日(土) 定員なし

パリ協定、モントリオール議定書キガリ改正のHFC削減スケジュールを実現するためには微燃性冷媒や自然冷媒を積極的に活用していく必要があります。

2020年10月には、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、さらに2021年4月に開催された気候変動に関する首脳会議(サミット)において、温暖化ガスの排出削減目標を13年度比で46%減を目指すとの表明がありました。それまでの目標が13年度比26%減であったことを考えると7割以上の引き下げであり、関係者から見ても挑戦的な目標であることは容易に理解できます。

また2023年に指定製品として更新用以外のビル用マルチエアコン、コンデンシングユニットの追加が承認されました。さらに2030年までに加重平均でGWP450程度を目指すとされています。

今後、更なる新冷媒の検討が必要となる状況であり、今回はこれらの取組み状況と将来展望について紹介します。本セミナーは2024年2月27日に西早稲田キャンパスで開催したセミナーの動画です。

※予め[【視聴環境確認ページ】](#)より、テスト動画が再生できることを必ずご確認ください。

### 1 基調講演

1.1	冷凍空調用冷媒をめぐる最近の状況と展望	香川 澄 早稲田大学 (公社)日本冷凍空調学会 元会長	約60分
1.2	フロン排出抑制法の今後の展開	宇垣 祐貴子 経済産業省オゾン層保護等推進室	約60分

### 2 冷媒問題への対応

2.1	カーボンニュートラル2050を目指す冷凍空調業界の課題と対応について	安田 透 (一社)日本冷凍空調工業会	約35分
2.2	空調機国際安全規格の改定状況	橋本 均 (一社)日本冷凍空調工業会	約35分
2.3	常時監視によるフロン類の漏えい検知システムについて ～JRA GL-17：業務用冷凍空調機器ガイドライン～	北出 幸生 (一社)日本冷凍空調工業会	約35分

### 3 次世代冷媒・機器開発の状況

3.1	A3冷媒R290を使用した温水暖房機の開発	高山 啓輔 三菱電機株式会社	約35分
3.2	低GWP冷媒“AMOLEA”の開発	福島 正人 AGC株式会社	約35分
3.3	ディープラーニングによる空調機器の冷媒漏えい検知技術	小牟禮 信哉 東芝キャリア株式会社	約35分

参加費(税込)：本学会の個人会員・法人会員企業の従業員 18,000円 冷凍技士 10,000円  
非会員(社会人) 25,000円 会員学生 2,000円 非会員学生 4,000円

申込方法：本セミナーは冷凍CPD会員登録者のみ受講できます。  
未登録者はホームページより「冷凍CPD会員」登録後にセミナーにお申し込みください。  
必ずセミナーを視聴するご本人が登録してください。

**申込 URL** → <https://jsrae-edu.org/>

備考1：受講する為には、冷凍CPD会員の登録が必要となりますがこの登録は無料です。  
セミナー動画を視聴するためには、このCPD会員のIDとPWが必要です。  
IDとPWはご自身で厳重に管理してください。

備考2：本セミナーの参加費は有料です。参加申し込み後に請求書が自動返信メールで届きます。  
支払い完了後にセミナー動画視聴URLと配布資料、領収書がダウンロードできます。